

## 喀痰吸引等研修カリキュラム（第14回）

※講義日程：水曜は夜、日曜は昼間で全11回50時間（別途に筆記試験と再試験各1時間）

※演習日程：日曜に2回14時間目安

※実地研修日程：研修先との調整で決定、4～8日間、30時間程度（期間：約1か月）

2019年 6月19日 (水)	1日目 18～21時	ガイダンス 講義①	介護職員と医療的ケア 介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度 保険医療に関する制度 医療的行為に係る法律	0.5 1 1 0.5	3
6月23日 (日)	2日目 9～17時	講義②	チーム医療と介護職員との連携 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 救急蘇生法 感染予防 職員の感染予防 療養環境の清潔、消毒法 滅菌と消毒	0.5 2 2 0.5 0.5 0.5 1	7
6月26日 (水)	3日目 18～21時	講義③	身体・精神の健康 健康状態を知る項目 急変状態について	1 1.5 0.5	3
6月30日 (日)	4日目 13～16:30	講義④	呼吸のしくみとはたらき いつもと違う呼吸状態 痰の吸引とは	1.5 1 1	3.5
7月7日 (日)	5日目 9～15:30	講義⑤	人工呼吸と吸引 子供の吸引について	2 1	3
		講義⑥	吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応・説明と同意 呼吸器系の感染と予防 痰の吸引により生じる危険、事後の安全確認	0.5 1 1	2.5
7月10日 (水)	6日目 18～21時	講義⑦	急変・事故発生時の対応と事前対策 痰の吸引で用いる器具・器材のしくみ、清潔の保持	2 1	3
7月14日 (日)	7日目 9～17時	講義⑧	喀痰吸引の技術と留意点 喀痰吸引に伴うケア 報告及び記録	5 1 1	7
7月21日 (日)	8日目 9～16:30	講義⑨	消化器系のしくみとはたらき 消化・吸収とよくある消化器の症状	1.5 1	2.5
		講義⑩	経管栄養とは 注入する内容に関する知識 経管栄養実施上の留意点 子どもの経管栄養	1 1 1 1	4
7月24日 (水)	9日目 18～21時	講義⑪	経管栄養に係る感染と予防 経管栄養利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1 0.5 1	2.5
7月28日 (日)	10日目 9～17時	講義⑫	急変・事故発生時の対応と事前対策 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 経管栄養の技術と留意点	1 1 5	7
7月31日 (水)	11日目 18～20時	講義⑬	経管栄養に必要なケア 報告および記録	1 1	2
	20～21時	試験	筆記試験60分 ・対象者を観察し状態を的確に表現する用語や指示を理解できるか ・喀痰吸引等の行為の根拠や目的、技術に関する基礎知識があるか		
8月4日 (日)	12日目 9～10時	試験予備	再試験60分(対象：筆記試験で正答90%未満のみ)		
	10～18時	演習①	1グループ6名以内でシミュレータによる演習を行う (演習手順評価を含む) <ケア行為項目と演習回数> ・口腔内の喀痰吸引：5回以上 ・鼻腔内の喀痰吸引：5回以上 ・気管カニューレ内部の喀痰吸引：5回以上		

8月11日 (日)	13日目 9～17時	演習②	<ケア行為項目と演習回数> ・胃ろう又は腸ろうによる経管栄養:5回以上 ・経鼻経管栄養:5回以上 ・救急蘇生法:1回以上	
2019年 8月、9月	基本研修修了後 4～8日程度 (期間:約1ヶ月)	実地研修	指導看護師指導下で提携先病院にて実地研修を行う。 (評価項目レベル判定を含む) <ケア行為項目と実施回数> ・口腔内の喀痰吸引:10回以上15回まで ・鼻腔内の喀痰吸引:20回以上25回まで ・気管カニューレ内部の喀痰吸引:20回以上25回まで ・胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養:20回以上25回まで ・経鼻経管栄養:20回以上25回まで	